

中学部段階からの職業教育の充実

中学部では小学部で培った力を基に、卒業後の社会生活や職業生活に向けて、中学部3年間を通して必要な力を段階的に身に付けられるようにします。また、作業活動を学習活動の中心に据えた「作業学習」がスタートし、その中で働くために必要な基礎的・基本的な力を身に付けます。「はたらく力」と一口に言っても多様な要素が含まれており、人と関わる力や感情をコントロールする力など、主体的に生活できるようにキャリア教育の視点を大切にしながら、学校生活全般を通して様々な活動を展開しています。また、生徒個別面談（対話）を定期的実施し、生徒の肯定的な自己理解を促し、自分の思いや願いを発信する機会を大切にしています。

※令和5年度キャリア教育全体計画（天王みどり学園中学部目指す姿）より

人間関係形成・社会形成能力

適切な表現方法で伝えたり、相手の考えを受け入れたりしながら目標を共有しやりとげる。

自己理解・自己管理能力

集団の中で感情や行動を自己統制しながら、自分の長所を生かして活動する。

課題対応能力

手掛かりをもとに自ら考え選択・決定したことの達成に向けて努力する。

キャリアプランニング能力

学校生活や家庭生活上での自分の役割が分かり、係活動や手伝いなどに責任をもち継続して取り組む。

1年生	2年生	3年生
<p>○生活単元学習等で…</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を果たしながら、仲間と協力する。 友達のとの関わりの中で集団生活のルールやマナーを守る。 自分のできることを増やす。 自分の決めた目標に意欲的に取り組む。よかったことや改善点を振り返り、次の活動へ生かす。 自分のできることやよさを知る、友達と互いのよさを伝え合うなどし、自己理解を深める。など 		
<p>○作業学習、校内実習（前期5日間／後期10日間）</p> <ul style="list-style-type: none"> 働く体験を繰り返し、働くために必要な基礎的な力を身に付ける。 中学部段階では特に「働く楽しさや喜び」を実感できるようにする。 		
<p>○職場見学</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所や働く人の様子、働くために必要なことを知り、将来の就労生活をイメージする。 	  	<p>○高等部作業学習見学・体験</p> <p>○職場見学</p> <p>○職場体験実習（1日間）</p> <ul style="list-style-type: none"> 校外で働く体験を行い、事業所で働く雰囲気味わう。また、高等部での実習や卒業後の生活に関心を広げ、自分に合った仕事や可能性を考えるきっかけとする。

秋田県立支援学校天王みどり学園

TEL:018-870-4611 FAX:018-870-4612

教頭:佐川 透 教育専門監:小野 直子 地域支援部:遠藤 美和子

特別支援教育地域センター(男鹿市立船川第一小学校内):月・水・金

TEL:0185-24-3231

特別支援教育アドバイザー[小松 美幸]

中学部 作業学習・前期校内実習を紹介します

中学部では、「木の工房」「土の工房」「紙の工房」「風の工房」の4つの工房に分かれて今年度も作業学習を行っています。また、前期校内実習を5月29日（月）から6月2日（金）までの5日間で実施しました。実習では、「挨拶」「返事」「報告」「言葉遣い」「身だしなみ」など、働くために必要な基本的な決まりやマナーを意識して作業すること、そして、新体制での作業学習が始まって間もない時期ということもあり、自分のやるべき作業に見通しをもち、時間いっぱい作業を続けることを目標に取り組みました。

実際の場面では、1年生は初めての作業学習、校内実習であり、新しい環境に慣れるまでに苦労する様子もありましたが、回数を重ねるごとに見通しをもって作業できるようになってきました。

2・3年生は工房が変わった生徒も多くいますが、これまでの経験を生かして積極的に自分から行動したり、作業内容を覚えようとしたり、後輩に作業の仕方をアドバイスしたりするなど、意欲的な面が見られました。

働く楽しさや達成感を味わい、仲間と一緒にやり遂げる力を付けていくことを目指して取り組んでいきたいと思えます。



各工房の主な作業学習製品



【土の工房】
小皿

【紙の工房】
小箱
カラフルベンチ



【風の工房】
油吸い取りパック

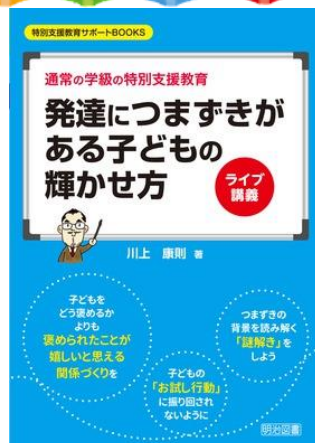


【木の工房】
マグネット
ひらがなドミノ



おすすめ図書紹介

通常の学級の特別支援教育
発達につまずきがある子どもの
輝かせ方
著者：川上 康則
出版：明治図書
価格：2060円+税



通常の学級を数多く巡回してきた著者と巡回先の先生・同僚の若手特別支援教育コーディネーター等との「対談」とそこで話題になったことについての「解説」を中心に話が進んでいきます。一話ごとに完結するLesson形式で特別支援教育について学べます。「授業中のおしゃべりがやめられない」などの具体的事例の対処から二次障害への対応、高校の特別支援教育についてなど、多岐に渡る内容が読みやすい一冊です。